

紙芝居、短冊に願いごと、発表と合唱 日本語教室で七夕まつりが開かれました

7月1・3・6日、日本語教室の各クラスで「七夕まつり」が行われました。

初めは七夕の紙芝居です。織姫彦星の物語を学習ボランティアが絵をめくりながら熱演しました。「へー」「ふーん」と、学習者も興味深い様子でした。

次はボランティアに手伝ってもらいながら、学習者は色とりどりの短冊にめいめいの願いごとを書き、それをみんなの前で一人ずつ発表しました。「日本語を上手になりたい」「家族が幸せでありますように」などの他、「もっとやせたい!」といった切実な(?) 願いもありました。短冊やおりがみをみんなで笹竹に結び付け、きれいな七夕飾りが完成しました。

そして「七夕さま」「見上げてごらん夜の星を」を合唱し、全員でニッコリ記念撮影。最後に学習者は自分の短冊がついた笹の枝を切ってもらい、お土産にしました。

一生懸命に書いたみんなの願い、きっと天に届いたのではないのでしょうか。



全員で記念撮影。(水曜日のクラス)



対馬スピンさん(タイ)の願い事は?